

川越から「祭」を応援ALE でYELL コエドブルワリー

日本を代表するクラフトビールメーカー「COEDO」株式会社 協同商事 朝霧重治代表取締役社長)では4月28日に特別醸造の「祭エール」(Matsuri Ale)を発売する。

これは、新型コロナウイルスの感染拡大により中止になった東北六県の祭を応援し復活を祈るために開発されたもの。1本あたり20円を各お祭り関係者に寄付される。

日本の祭りへの精神性のあらわれの一つがお米。青森ねぶたには青森産、秋田竿灯には秋田産、岩手盛岡さんさには岩手産、福島わらじには福島産、宮城仙台七夕には宮城産、山形花笠には山形産のお米を使用。

この心遣いによってスッキリとした飲み口に仕上がっている。

2021年発売の「川越まつり・祭エール」は初回3000本は発売初日で完売。二回目の醸造中という人気。4月28日発売の「祭エール」も大人気間違いなし。

詳しくは こちらまで。

<http://www.coedobrewery.com>